

万博への子ども招待事業に関して、爆発事故の再発防止・原因の徹底究明と情報公開を求める意見書（案）

大阪・万博会場建設現場において3月28日工事中にメタンガス爆発事故が発生した。

万博会場となる夢洲は、もともとゴミや浚渫土砂の処分場であり、かねてから可燃性ガスの発生が指摘されており、国会でもその危険性が取り上げられてきた。学校現場や保護者・府民から、「本当に子どもを連れて行っても大丈夫なのか？」など心配する声が出ている。子どもたちを招待する以上、大阪府及び大阪府教育委員会は、このような声に耳を傾け真摯に対応する責任がある。関係機関は今回の事故についてきちんと調査し、安全であることを確認し、それができるまでは、子ども招待事業は見送るべきである。

また、万博に行くかどうかの検討にあたって、不安や心配の声が多数出ている。建設途中で不明なことがあまりに多いこと、情報が圧倒的に少ないことなどがその理由である。さらに、「子ども招待」としながら、交通手段確保や、熱中症対応、支援を必要とする子どもへの配慮などの安全対策なども現場丸投げの状態である。

よって、大阪府及び大阪府教育委員会の責任で以下の対策を速やかに実現されるよう要望する。

#### 記

1. 今回の事故について、再発防止・原因究明・情報公開を徹底すること。安全・安心を確認できるまでは、子どもの招待事業や学校の意向調査は延期すること。
2. 学校行事としての万博参加は、各学校が判断するものであることを学校現場に周知すること。意向調査は「応じない」ことも可能であることを周知するとともに、「応じる」とした場合でも、実施段階でやめることができることを確認すること。
3. 熱中症対応などの安全対策や要支援児童対策など、行事实施途中に起こる不測の事態に対応する人の配置や現地窓口の設置など、安全・安心に行事が実施できるよう対策をとること。
4. バスの確保だけでなく、計画通り安心して行事が実施できるよう交通手段の確保をおこなうこと。
5. これらの対策事業や安全対策が確認されないかぎり、大阪万博への子ども招待事業は見送ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2024年6月 日

（日本共産党）